



研修医日記

作成者：芦田 雄汰朗（2年次）

盛夏の候、皆様におかれましてはどのようにお過ごしでしょうか。私は、数年ぶりの夏バテに四苦八苦しております。

最近、ドラマや映画を見ることが多くなりましたが、以前に比べて何か得ようという気持ちが薄くなったように感じます。意識的にそうしている部分はもちろんございますが、じかんとただただ消費することができるようになってきました。結局は自分のさじ加減ではありますが、時間の使い方に窮屈を感じていました。何かに時間を使う際、有意義なことを自然に求めてしまっていたのです。娯楽であろうとその発想は変わらず、自身の今後に活かせるものはないかと目を血走らせてしまいます。それが昨年くらいから、少しずつですがただ楽しむことができるようになってきました。

娯楽は楽しむためのものであり、教訓などはあってもなくてもいいのではないかというのが今の考えです。要は一対一対応で考えているわけですが、私の処理能力の問題でもあります。何か学べることはないかと躍起になっていると、後で振り返って内容を思い出せないことがしばしばあります。また、高校・大学生活でも同様の事がありました。勉強のことで焦りがあると部活でも集中力が落ちますし、逆に部活でうまくいかないと勉強にも身が入らないことがよくあります。それに気付いてから、思い切って片方に振り切ってみたところ、状況は変わっていませんが、どちらも上手く事が進みました。

無意味な宣誓をしますが、今後もただ娯楽を楽しめるように努めていきたいと思えます。それにメリハリをつけ、今後の仕事、勉強もよく集中できれば、言うことなしです。誰にも伝わらない、変化ももたらされない自分の戦いはまだまだ続きます。

※日記の作成日と当ページへの掲載日は異なる場合があります。